

2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 グリーンモンスター株式会社 上場取引所 東
コード番号 157A URL <https://greenmonster.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小川 亮
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 開原 信一 (TEL) 03-6304-7647
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績(2024年7月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	1,407	△8.7	105	△59.1	71	△71.4	75	△70.0	43	△73.8
2024年6月期第3四半期	1,541	—	257	—	250	—	252	—	163	—

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 43百万円(△73.8%) 2024年6月期第3四半期 163百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	13.63	12.86
2024年6月期第3四半期	66.98	60.41

(注) 当社は2024年6月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	2,549	1,436	56.3
2024年6月期	1,850	1,472	79.6

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 1,436百万円 2024年6月期 1,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰 属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,950	△0.4	160	△34.4	120	△48.1	120	△48.1	75	△52.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社 (社名) 株式会社ファイナンシャルインテリジェンス、ブラックモンスター株式会社
除外 1社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご確認下さい。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期3Q	3,191,200株	2024年6月期	3,190,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	81,900株	2024年6月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期3Q	3,156,213株	2024年6月期3Q	2,448,182株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年7月1日～2025年3月31日)におけるわが国経済は、日銀の政策金利引き上げを受けて市場金利が上昇し、企業の資金調達コストが増加した一方、市場変動リスクが顕在化しました。為替市場では、年初の1ドル＝158円台から日米金利差縮小と米長期金利低下を背景に円高が進行し、3月には146円台まで達した後、期末は約149円で推移しました。株式市場では、日経平均が2024年12月末から約10%超下落し、TOPIXも下落しましたが、国内消費関連銘柄や小型の成長株は下げ幅が小さく、比較的安定して推移しました。物価は生鮮除くコアCPIが前年同月比約3.0%と高止まりし、2024年冬季賞与は企業業績改善を反映して前年を上回る伸びを示したものの、実質賃金は依然マイナス圏にとどまりました。経済は内需を中心に底堅く推移したものの、外需の回復は鈍く、全体としては横ばい圏で推移しています。労働市場は失業率2%台半ば、有効求人倍率高水準で推移し、人手不足が賃上げ・設備投資を支えました。国際面では、米国の景気減速やスタグフレーション懸念、対中通商摩擦の再燃、ウクライナ情勢の長期化が下押し圧力として作用し、その結果、経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、主力事業である体験型投資学習アプリのFX取引体験型学習アプリ「FXなび」、株取引体験型学習アプリ「株たす」、株&積立投資シミュレーションアプリ「トウシカ」の機能改善開発とコンテンツ配信を通じて、新たに投資を始めたい方々の支援をまいりました。2024年1月に開始された新NISA制度の導入及び為替市場の変動による投資機会の拡大に対応し、アプリの新機能リリースを行い、キャンペーン実施によるマーケティングを強化したことにより、アプリのインストール数及び口座開設数は堅調に推移しました。また、連結子会社によるファイナンシャルプランニングサービスの事業については、順調に顧問先の獲得が進み、投資スクールの事業についても順調に講座受講者が増え、売上高は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,407,794千円(前年同期比8.7%減)、営業利益71,725千円(前年同期比71.4%減)、経常利益75,693千円(前年同期比70.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益43,011千円(前年同期比73.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ447,239千円増加し、2,132,817千円となりました。これは主に現金及び預金が317,173千円、売掛金が58,879千円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ252,485千円増加し、417,100千円となりました。これは主に株式取得及び吸収分割により増えた224,988千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ699,725千円増加し、2,549,917千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ742,427千円増加し、1,032,262千円となりました。これは主に短期借入金が700,000千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ7,506千円減少し、80,673千円となりました。これは長期借入金の減少7,506千円によるものであります。

この結果、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ734,966千円増加し、1,112,935千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ35,241千円減少し、1,436,981千円となりました。これは主に自己株式の取得46,574千円、配当金の支払いによる利益剰余金の減少31,900千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上43,011千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,490,070	1,807,244
売掛金	150,497	209,377
仕掛品	76	—
貯蔵品	—	275
貸倒引当金	—	△56
その他	44,932	115,977
流動資産合計	1,685,577	2,132,817
固定資産		
有形固定資産		
建物	27,857	27,857
減価償却累計額	△155	△1,555
建物（純額）	27,701	26,301
工具、器具及び備品	15,535	22,820
減価償却累計額	△2,904	△8,597
工具、器具及び備品（純額）	12,630	14,222
有形固定資産合計	40,332	40,524
無形固定資産		
のれん	26,456	251,445
ソフトウェア	11,801	28,255
無形固定資産合計	38,257	279,700
投資その他の資産		
投資有価証券	50,000	50,000
繰延税金資産	10,192	16,018
その他	25,831	30,855
投資その他の資産合計	86,024	96,874
固定資産合計	164,614	417,100
資産合計	1,850,191	2,549,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,571	89,003
短期借入金	—	700,000
1年内返済予定の長期借入金	10,008	10,008
未払金	115,677	91,245
未払法人税等	35,363	38,269
未払消費税等	24,556	8,959
賞与引当金	—	12,565
契約負債	13,282	59,525
その他	22,330	22,685
流動負債合計	289,789	1,032,262
固定負債		
長期借入金	50,794	43,288
役員退職慰労引当金	31,752	31,752
繰延税金負債	5,632	5,632
固定負債合計	88,179	80,673
負債合計	377,968	1,112,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,900	32,011
資本剰余金	537,450	537,561
利益剰余金	902,693	913,804
自己株式	—	△46,574
株主資本合計	1,472,043	1,436,801
新株予約権	180	180
純資産合計	1,472,223	1,436,981
負債純資産合計	1,850,191	2,549,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,541,453	1,407,794
売上原価	1,008,954	924,816
売上総利益	532,499	482,978
販売費及び一般管理費	282,085	411,252
営業利益	250,414	71,725
営業外収益		
受取利息	8	1,278
補助金収入	1,095	—
受取家賃	—	1,227
為替差益	207	1,902
その他	2,313	2,378
営業外収益合計	3,625	6,787
営業外費用		
支払利息	1,665	2,797
その他	1	22
営業外費用合計	1,666	2,819
経常利益	252,373	75,693
税金等調整前四半期純利益	252,373	75,693
法人税等	88,385	32,681
四半期純利益	163,988	43,011
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,988	43,011

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	163,988	43,011
四半期包括利益	163,988	43,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,988	43,011

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において株式会社ファイナンシャルインテリジェンスの株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは、全セグメントに占める「投資学習支援事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、全セグメントに占める「投資学習支援事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	1,544千円	10,640千円
のれんの償却額	5,669千円	23,050千円